科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER51 1T10 English Reading			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 徳永 悠		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金1	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

アイザック・ニュートン（1643～1727）は、万有引力の法則、微積分法、光の分析について明らかにし、近代自然科学の体系を確立した。同時にニュートンは自然の仕組みの背後に神の存在を意識する信仰心の厚い人物でもあった。この授業では「一般学術目的の英語」（English for General Academic Purposes, EGAP）の力を伸ばすことを目的として、Rob Iliffe, Newton: A Very Short Introduction (2007)を読み、ニュートンの発見の歴史的な意義とその人物像について英語で理解を深める。

[到達目標]

１）近代自然科学とその歴史に関する知識を英語で習得する。２）近代自然科学とその歴史に関する英語の読解力と語彙力を身につける。３）近代自然科学について歴史的に考察して文章化し、積極的に議論する力を養う。

[授業計画と内容]

第1回：授業概要説明
第2回：Chapter 1
第3回：Chapter 2
第4回：Chapter 3 (pp.20-31)
第5回：動画教材と議論
第6回：Chapter 3 (pp.32-40)
第7回：Chapter 4
第8回：Chapter 5
第9回：動画教材と議論
第10回：Chapter 7
第11回：Chapter 8
第12回：Chapter 9
第13回：Chapter 10
第14回：教科書全体の振り返りと討論
第15回：フィードバック（テストや授業内容について質問を受け付ける）

教科書を使った授業（第2、3、4、6、7、8、10、11、12、13回）では、教科書の該当範囲のうち、最も印象に残った段落を一つ選んで翻訳し、その段落を選んだ理由・考察を書き添えた「考察レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにLMSに添付して提出する。授業中は「考察レポート」の内容を発表する（毎回8人程度）。授業の後半はグループに分かれて教科書の内容について議論する。

動画教材の授業（第5、9回）の授業では、授業内容と関連した動画を視聴して議論する。提出課題

英語リーディング ER51(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER51(2)

はない。

※課題はLMSの「課題」ツールから提出する。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

考察レポート：60点（10回×6点）
期末レポート：40点（1回×40点）

各課題は到達目標3項目の達成度に基づき評価する。授業に遅刻また欠席したり、課題の提出が遅れたりした場合は最終的な成績から減点する。5回以上授業を欠席した場合、期末レポートを提出しなかった場合は成績評価の対象としない（不合格）。

出席は教室のICカードリーダー（出席登録システム）で登録する。「履修の手引き」にあるとおり、ICカードリーダーの出席受付時間は「授業開始15分前から1時間」とする。

この授業における翻訳作業は考察の過程として、そして、英語という言語に直接ふれる機会として重要である。考察レポートの翻訳部分について、自動翻訳サイトなどを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。考察レポートの考察部分および期末レポートは、生身の人間として問いを立てて考える力を磨くことを目的としているため、文章作成のためにAIを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。

[教科書]

Rob Iliffe 『Newton: A Very Short Introduction』（Oxford University Press, 2007）**（大学図書館データベースでも読むことができますが、手に取って読める書籍として購入することをおすすめします。）**

[授業外学修（予習・復習）等]

各提出課題を期限までに準備する。

[その他（オフィスアワー等）]

担当教員の連絡先：ytokunaga28@gmail.com

[主要授業科目（学部・学科名）]